

ほうゆうたより 9^{S E P}月号

編集委員：施設長 池 功 司

日が短くなり、朝晩冷え込みだと、暖房が恋しいと言うか「もう使っているヨ！」と返事がありそうです。先日、町内の燃料店に行くと、点検済みのストーブが沢山置いてあり、店員さんが取付け作業に追われていました。また、月末に研修で札幌に行きましたが、北見峠の樹木が所々、黄色くなっているを見ると、秋の気配と言うより、冬の足音が聞こえそうでした。

今年の冬は、ホーム職員もお年寄り達も節電に協力しました。その見返りが、電気料金の大幅値上げと言うのでは協力した甲斐もなく、オール電化のホームにとっては腹立たしい話です。

お年寄りたちは皆、寒さには敏感でちょっとでも寒いと、「あ～寒い」の大合唱です。来年は、今年のように寒い冬でなければ良いのですが、10月は皆で菊祭りを見に行く予定です。

インフルエンザの流行も気になりますが、皆楽しみにしていますので、止めるわけにはいきません。早めに予防注射を済ませたいと考えています。あと、越冬用の食材の調達も始めなければならず、毎年のことながらこの時期、私一人だけが勝手にテンパっています。



「お祭り」、と言えば屋台での買い食い！ なんぼ、面白い大道芸を見てもお腹は満足しません。お祭りの屋台の食べ物は、何故かしら一味違がうれしいのです。今年も穂高さんの屋台で一息、ついでにお腹も満ち、帰りにはお祭りに出られなかった、お年寄り達にお土産を持ってホームに帰還、お天気もそこそこで、熱い汁ものもなんのその、これだからお祭りは止められません、お年寄りの声でした。



9/16(月)、ホームの敬老会風景です。

それに先立ち14日は町の敬老会で、75歳以上のお年寄りにはお赤飯、88歳になるフミエさんとノブさんのお二人に、お米券を頂きました。

また、最高齢の千代子さんには、町からひざ掛けをプレゼントして頂きました。ホームでは、今年も民謡サークル「声友会」の方たちに来て頂き、子供たちのはちきれんばかりの熱唱で、お年寄り達を喜ばせてくれました。

10月の行事予定

- 1・10/20 西口 千代子さん 満103歳 まだまだ、元気です。
- 2・10月 北見菊祭り